

国指定文化財（美術工芸品）の所在確認の現況について

I. これまでの経緯

- 国指定文化財（美術工芸品）の現状を把握するため、全件（10,524件）を対象として実施した所在確認調査の結果については、平成26年7月4日に第1次取りまとめとして公表。
- その際、追加で確認が必要とされた件数が238件あったため、改めて29都道府県を対象として追加確認調査を実施し、その結果を平成27年1月21日に第2次取りまとめとして公表。
- その後も引き続き所在の確認作業を継続的に進め、その状況を定期的に公表することとしていたため、平成27年度末時点の状況を平成28年5月13日に公表。
- このたび、その後の所在確認の結果について、平成28年度末時点の状況を公表する。

II. 平成28年度末以降の状況について

- 所在不明とされていた172件中、所在が確認できた文化財は7件（うち国宝0件。詳細は別紙1参照）、追加で確認が必要となった文化財が1件（うち国宝0件）。
- 追加で確認が必要とされていた58件中、所在が確認できた文化財は3件（うち国宝0件）。
- これらの結果、現時点で所在が確認できたものは10,304件、所在不明のものは164件（詳細は別紙2、別紙3参照）、追加で確認が必要なものは56件。

（参考）総括表

	第1次取りまとめ (平成26年7月4日)	第2次取りまとめ (平成27年1月21日)	H27年度末状況 (平成28年5月13日)	今回
所在が確認できたもの	10,177 <96.7%>	10,276 <97.6%>	10,294 <97.8%>	10,304 <97.9%> +10
所在不明と判明したもの	109 (1) <1.0%>	180 (3) <1.7%>	172 (2) → 7 <1.6%> → 1	164 (2) <1.6%> -8
追加で確認が必要なもの	238 (12) <2.3%>	68 (9) <0.5%>	58 (7) → 3 <0.6%>	56 (7) <0.5%> -2
合計	10,524	10,524	10,524	10,524

※（ ）内の数字は国宝の件数（内数）